

主催 日本歴史学協会 日本学術会議史学委員会・同中高大歴史教育に関する分科会
後援 高大連携歴史教育研究会
歴史教育シンポジウム：歴史総合をめぐる (5)

「歴史総合」の教科書をどう作ったか

2021年10月30日(土曜日)午後1時30～17時30分 予定

オンライン開催・参加費無料・先着受付 (300名まで)

下記ウェブサイトまたは右のQRコードよりお申し込みください (※切10月28日)
登録された方には、シンポジウムの前日、ZoomのURLとレジュメをお送り致します。

<https://forms.gle/J8mzAH6kRdUmJrxs9>



プログラム

開会挨拶

若尾政希 一橋大学教授・日本学術会議会員・日本歴史学協会委員長

趣旨説明

君島和彦 東京学芸大学名誉教授・日本学術会議連携会員

司会

中野 聡 一橋大学学長・日本学術会議連携会員

報告

成田龍一 日本女子大学名誉教授

歴史的实践としての「歴史総合」のために (仮題)

川手圭一 東京学芸大学副学長

「歴史総合」の構想と教育現場をつなぐもの (仮題)

廣川みどり 千葉県立袖ヶ浦高等学校教諭

「歴史総合」でできること、為すべきこと
—高校現場で考える—

コメント

長志珠絵 神戸大学教授・日本学術会議連携会員

閉会挨拶

栗田禎子 千葉大学教授・日本学術会議会員

日本学術会議史学委員会と日本歴史学協会は2016年以来、「歴史総合」に関してシンポジウムを開催してきた。2016年12月の中教審答申で「歴史総合」の設置が答申され、2018年3月に必修科目「歴史総合」と選択科目「日本史探究」・「世界史探究」の学習指導要領が告示された。「歴史総合」は、2020年度に教科書検定が行われ、2021年度に教科書採択も実施された。そして、「歴史総合」の授業が2022年4月から始まる。このような状況を受けて、2021年の歴史教育シンポジウムでは、「歴史総合」の教科書の執筆に関わった方々で、研究分野が日本史の方、外国史の方、高等学校で世界史の授業を担当されている方に報告を依頼した。「歴史総合」の教科書も完成したことを受けて、「歴史総合」をどう構想したかを再検討してみたい。